

めざす姿	<p>■最終目標 がん患者が、安全かつ安心な質の高いがん医療をうけることができる。</p> <p>■中間目標 がん診療連携拠点病院等において、安全かつ安心な質の高い医療提供体制及び情報提供体制の充実が図られている。</p>
個別施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん医療提供体制の充実</li> <li>がん医療の質の向上</li> <li>患者目線でのがん診療情報の提供</li> </ul>
令和元年度取組	<p>令和元年7月18日(木)、令和2年2月27日(木)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ならのがん医療見える化推進事業             <ul style="list-style-type: none"> <li>県民ががんの治療や病院を選ぶ際に役立つ情報として「がんネットなら」を改修し、県民にわかりやすくがん情報を公表していく</li> <li>地域別がん対策見える化推進事業では、医療圏を拡大し、地域別、がん種別の課題に応じた施策の展開につなげる(東和医療圏、中和医療圏)</li> </ul> </li> <li>がん診療連携拠点病院機能強化事業             <ul style="list-style-type: none"> <li>拠点病院5カ所、地域がん診療病院1カ所の人件費や取組に対する補助</li> <li>拠点病院等の指定要件変更に伴う実地調査の実施【資料2-1】</li> <li>奈良県地域がん診療連携支援病院指定要綱の改正</li> <li>指定更新に伴う実地調査(3カ所)</li> </ul> </li> <li>がん患者に対する口腔ケア対策支援事業             <ul style="list-style-type: none"> <li>がん診療連携登録歯科医の資質向上とスキルアップ研修の実施</li> <li>がん診療連携拠点病院等と地区歯科医師会とのがん患者の口腔管理に関する連絡会の実施</li> <li>歯科医師を対象とした「がん患者歯科連携事業マニュアル」を作成し、講習会を実施</li> <li>登録歯科医にかかる課題把握</li> <li>県民むけ講演会の実施</li> </ul> </li> </ol> <p>1. ならのがん医療見える化推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県民ががんの治療や病院を選ぶ際に役立つ情報として「がんネットなら」で公表しているがん情報データの更新を行う</li> <li>地域別がん対策見える化推進事業では、医療圏を拡大し、地域別、がん種別の課題に応じた施策の展開につなげる(奈良医療圏、西和医療圏)</li> </ul> <p>2. がん診療連携拠点病院機能強化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>拠点病院5カ所、地域がん診療病院1カ所の人件費や取組に対する補助</li> <li>奈良県地域がん診療連携支援病院の実地調査</li> <li>拠点病院の緩和ケア提供体制に関する実地調査の実施(予定)</li> </ul> <p>3. がん患者に対する口腔ケア対策支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>がん診療連携登録歯科医の資質向上とスキルアップ研修の実施</li> <li>がん診療連携拠点病院等と地区歯科医師会とのがん患者の口腔管理に関する連絡会の実施</li> <li>県民むけ講演会の実施</li> </ul> <p><b>新</b>4. がん医療機能分化推進事業</p> <p>県内でのがんゲノム医療の提供に向けて、各診療科横断的にマシナメントできる人材(がん薬物療法専門医)を育成し、県内拠点病院へ専門的な人材を配置すると共に、県内のがんゲノム医療、薬物療法に係る医療施設間の機能分化及びネットワーク化を図り、県内のがん治療水準の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>奈良県立医科大学が設置する「腫瘍内科学講座」の整備に係る費用、専門従事者等の育成に係る事業に対する補助を行う</li> </ul>

■ 基準値と比較して改善していない  
■ 基準値と比較して改善している  
■ 指標項目要検討

## 2. がん医療 (1)がん医療の充実

分野	分野別目標		現状値(基準値)	H30年度	R25年度	目標値	出典	
	目標	指標						
<b>2 がん医療</b>								
(1)がん医療の充実								
最終目標	安全かつ安心な質の高い医療を受け	5年相対生存率	—	80.2% (H23)	調査中 (H24)	増加 (H25以降)	がん登録(奈良県)	
	がん患者が納得した治療を選択でき	医師による診療・治療内容に満足している	82.4% (H20)	—	—	—	増加	ならのがんに関する患者意識調査
		診断や治療方針について、自分の疑問や意見を十分に医師に伝えられた	70.6% (H20)	—	—	—	増加	
	がんの診断から治療開始までの状況を総合的に振り返り、自身の納得した治療を選択することができた	がんの診断から治療開始までの状況を総合的に振り返り、自身の納得した治療を選択することができた	86.0% (H20)	—	—	—	増加	ならのがんに関する患者意識調査
		がん治療で生じた安全問題を検出している拠点病院の割合	100% (H20)	—	—	—	増加	
	各療法について、県内で安全で質の高い医療が提供されている	がん治療で生じた安全問題を検出している拠点病院の割合	100% (H20)	—	—	—	増加	がん診療連携拠点病院院内がん登録全国集計報告書
		手術・化学療法・放射線療法・ホルモン療法に対し、1年に10回以上、V/Pラズ分析を行っている拠点病院の割合	60% (H28)	H30から記載項目なし	—	—	増加	
	がん患者が必要な時にサポートを受けられるチーム医療体制が整備され、医療従事者間の連携が強化されている	診断・治療に関する医師、看護師、他のスタッフは、十分に連携している	65.8% (H29)	—	—	—	増加	ならのがんに関する患者意識調査
		がん治療を決めるまでの間、医師、看護師、他のスタッフは、治療について、患者がほしい情報を提供している	88.4% (H29)	—	—	—	増加	
	中間目標	がん患者やその家族に必要な情報を提供できている	がん治療方法についての情報が不十分である	29.4% (H29)	—	—	減少	ならのがんに関する患者意識調査
病院の診療体制や治療法について、情報が不十分である			22.3% (H29)	—	—	—		
がん医療提供体制の充実		がん化学療法看護認定看護師が配置されている拠点病院・診療科数・支援病院の割合	88.9% (H28)	77.8% (H30)	66.7% (R1)	増加	現状報告	
		がん専門薬剤師またはがん薬物療法認定薬剤師が配置されている拠点病院の割合	80.0% (H28)	80.0% (H30)	80.0% (R1)	増加		
がん放射線療法看護認定看護師が配置されている拠点病院・支援病院の割合		がん放射線療法看護認定看護師が配置されている拠点病院・支援病院の割合	57.1% (H28)	57.1% (H30)	42.9% (R1)	増加	現状報告	
		拠点病院の病理診断医師数	20人 (H28)	19人 (H30)	18人 (R1)	増加		
悪性新生物手術の実施件数(人口10万人あたりの実施件数(1ヶ月分))		悪性新生物手術の実施件数(人口10万人あたりの実施件数(1ヶ月分))	34.1 (H28)	—	33.8 (H29)	増加	医療施設調査(厚生労働省)	
		放射線治療(体外照射+腔内・組織内照射)の実施件数(人口10万人あたりの実施件数(1ヶ月分))	243.3 (H28)	—	244.6 (H29)	増加		
外来化学療法の実施件数(人口10万人あたりの実施件数(1ヶ月分))		外来化学療法の実施件数(人口10万人あたりの実施件数(1ヶ月分))	223.8 (H26)	—	183.9 (H29)	増加	現状報告	
		薬物療法の結果について、がん診療連携拠点病院等で情報共有	実施済み (H29)	H30から記載項目なし	実施済み (R1)	継続実施		
拠点病院等での医療安全管理部門等での検討会の開催回数	拠点病院等での医療安全管理部門等での検討会の開催回数	159回 (H28)	—	—	増加	現状報告		
	医療の質の評価方法について検討結果の公表	—	—	—	3年以内の公表			
がん医療の質の向上	がん診療連携登録がん医療の質の向上	—	—	—	2年以内の公表	奈良県県民		
	がん診療連携登録がん医療の質の向上	—	—	—	増加			
患者目線でのがん診療情報の提供	がん診療連携登録がん医療の質の向上	29,000部 (H25~29)	10,000部以内	9,800部 (H30~R1)	増加	ならのがんに関する患者意識調査		
	がん診療連携登録がん医療の質の向上	11.3% (H29)	—	—	増加			
患者目線でのがん診療情報の提供	がん診療連携登録がん医療の質の向上	2.71% (H29)	—	—	増加	ならのがんに関する患者意識調査		
	がん診療連携登録がん医療の質の向上	45.5% (H29)	—	—	増加			

## 第3期奈良県がん対策推進計画 目標の進捗状況について

## 第3期奈良県がん対策推進計画 目標の進捗状況について

	基準値と比較して改善していない
	基準値と比較して改善している
	指標項目要検討

### 2. がん医療 (2) がんと診断された時からの緩和ケア

分野	分類別目標		指標	現状値 (基準値)	H30年度	R3元年度	目標値	出典		
	分野	目標								
2 がん医療	(2) がんと診断された時からの緩和ケア	最終目標	身体的、精神的、社会的苦痛が緩和されている	からの苦痛に対する緩和ケアの早い提供 症状改善の状況	88.9% (H29)	-	-	増加	なりのがんに関する患者意識調査	
			中間目標	質の担保された緩和ケア提供体制 (緩和ケア外来、チーム医療)が整備されている	気持ちのつらさに対する緩和ケアの早い提供 症状改善の状況	88.0% (H29)	-	-	増加	なりのがんに関する患者意識調査
		緩和ケア提供体制の充実 緩和ケアの理解促進と情報提供の充実	令和元年7月18日(木)、令和2年2月27日(木)	1. 地域連携・緩和ケア普及推進事業 ① 緩和ケア研修会の実施促進 平成30年度より、緩和ケア研修にe-learning導入 緩和ケア研修会を奈良県地域がん診療連携支援病院(国保中央病院、済生会中和病院)に委託し実施 拠点病院の緩和ケア研修会のとおりまとめ【資料2-2】 緩和ケア研修の開催予定、研修会修了者名簿を「がんネットなら」で掲載	緩和ケアチームにおける年間新規診療症例数(拠点病院)	846人 (H29)	748人 (H29)	768人 (H30)	増加	現状報告
					緩和ケア外来患者の年間新規診療症例数(拠点、支援病院)	192人 (H28)	228人 (H29)	255人 (H30)	増加	現状報告
					緩和ケアはがんと診断された時から受けるものだと知っている	40.6% (H29)	-	-	増加	なりのがんに関する患者意識調査
					緩和ケア外来患者の年間受診患者のべ数(拠点病院)	1,634人 (H28)	2,044人 (H29)	2,326人 (H30)	増加	現状報告
					緩和ケア外来患者の年間新規診療症例数(拠点、支援病院)	192人 (H28)	228人 (H29)	255人 (H30)	増加	現状報告
					緩和ケアチーム研修会の参加医療機関数	8施設 (H28)	8施設 (H30)	7施設 (R1)	増加	奈良医大調べ
					緩和ケア提供体制に関する計画・分析の公表(年1回)	-	未実施	未実施	実施	-
					がん患者指導管理科を算定している医療機関数	17施設 (H29,121)	18施設 (H31,31)	17施設 (R2,21)	増加	厚生労働省近畿厚生局
がん患者指導管理科を算定している医療機関数	16施設 (H29,121)	17施設 (H31,31)	17施設 (R2,21)	増加	現状報告					
拠点病院における緩和ケア研修会受講率(医師)	91.4% (H29,91)	94.6% (H30,91)	93.9% (R1,91)	90%以上	現状報告					
看護部等の緩和ケア研修会(EUNEQ-J)の受講者数	-	未実施	30人 (R1)	増加	奈良医大調べ					
緩和ケアナローブ研修(ライブ研修)受講者数	-	1回 (H30)	未実施	増加	なりのがんに関する患者意識調査					
緩和ケアの理解促進と情報提供の充実	「がんネットなら」の認知度、アクセス数	11.3% (H29)	-	-	増加	なりのがんに関する患者意識調査				
	拠点病院等における公開講座の開催回数	6回 (H28)	5回 (H30)	6回 (R1)	増加	奈良医大調べ				

めざす姿	<p>■最終目標 がん患者やその家族が、痛みやつらさが軽減され、療養生活に満足している。</p> <p>■中間目標 がん患者やその家族ががんと診断された時から緩和ケアをうけることのできる体制整備が進んでいる。</p>
個別施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>緩和ケア提供体制の充実</li> <li>緩和ケアの理解促進と情報提供の充実</li> </ul>
令和元年度 取組	<p>令和元年7月18日(木)、令和2年2月27日(木)</p> <p>1. 地域連携・緩和ケア普及推進事業 ① 緩和ケア研修会の実施促進 平成30年度より、緩和ケア研修にe-learning導入 緩和ケア研修会を奈良県地域がん診療連携支援病院(国保中央病院、済生会中和病院)に委託し実施 拠点病院の緩和ケア研修会のとおりまとめ【資料2-2】 緩和ケア研修の開催予定、研修会修了者名簿を「がんネットなら」で掲載</p> <p>② 地域の診療所を対象としたがんの在宅緩和ケア研修会の実施【資料2-3】 日時：令和2年3月7日(土) 14:00～16:30(予定) →<b>新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、開催中止</b></p>
令和2年度 計画	<p>1. 地域連携・緩和ケア普及推進事業 ① 緩和ケア研修会の実施促進 緩和ケア研修会を奈良県地域がん診療連携支援病院(国保中央病院、大和高田市立病院)に委託し実施 拠点病院の緩和ケア研修会のとおりまとめ 緩和ケア研修の開催予定、研修会修了者名簿を「がんネットなら」で掲載</p> <p>② 地域の診療所を対象としたがんの在宅緩和ケア研修会の実施 (地域連携・再掲)</p>

### ② がんと診断された時からの緩和ケア

③地域連携

めざす姿	<p>■最終目標 がん患者が、自分の望む場所で納得のいく療養生活を送ることができる。</p> <p>■中間目標 診断、治療、在宅、看取りまで、切れ目のない医療提供体制の整備が進んでいる。</p>
個別施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>拠点病院等の地域連携体制の充実</li> <li>在宅緩和ケア提供体制の整備及び充実</li> <li>がん患者や県民への情報提供と普及啓発</li> </ul>
令和元年度 取組	<p>令和元年7月18日（木）、令和2年2月27日（木）</p> <p>1. 地域連携・緩和ケア普及推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の診療所を対象としたがんの在宅緩和ケア研修会の実施                      県医師会と連携して実施                      日時：令和2年3月7日（土）14:00～16:30（予定）                      →新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、開催中止</li> </ul> <p>2. 県の在宅医療、包括ケアの取組 【資料2-4、2-5】</p>
令和2年度 計画	<p>1. 地域連携・緩和ケア普及推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の診療所を対象としたがんの在宅緩和ケア研修会の実施                      県医師会と連携して実施</li> </ul> <p>2. 県の在宅医療、包括ケアの取組</p>

第3期奈良県がん対策推進計画 目標の進捗状況について

基準値と比較して改善していない  
 基準値と比較して改善している  
 指標項目要検討

2. がん医療  
(3) 地域連携

分類	分野別目標	指標	現状値	H30年度	R元年度	目標値	出典	
			(基準値)					
2 がん医療	(3) 地域連携	最終目標	住み慣れた場所で、療養生活を送ることができる 【がん患者の在宅死亡割合】	17.5% (147)	18.7% (428)	20.1% (429)	増加	人口動態統計
		中間目標	在宅緩和ケアについて、希望し、実現可能な病院から診療所・在宅医療（看取りも含む）へ移った際、病院での情報（診療方針）が診療所、訪問看護ステーションに円滑に伝わった	40.2% (429)	-	-	増加	ならのがんに関する患者意識調査
			がん診療連携拠点病院等（かかりつけ医・在宅医とのスムーズな医療連携ネットワーク）体制が整備されている	20.7% (429)	-	-	増加	ならのがんに関する患者意識調査
		最終目標	在宅療養支援診療所数	137件 (428)	122件 (429)	145件 (430)	増加	奈良県調べ
			がん診療連携拠点病院における緩和ケアに関する地域多職種カンファレンスの開催回数（150～他施設含む）	151施設 (429,10,1)	162施設 (431,3,1)	165施設 (422,1)	増加	厚生労働省近畿厚生局
		中間目標	がん患者が地域連携や在宅医療について、必要な情報提供を受けている	16回 (428)	17回 (429)	18回 (430)	増加	現況報告
			緩和ケアに関するがん診療連携拠点病院等と地域で連携体制が整備されている	32人 (428)	42人 (429)	49人 (430)	増加	現況報告
		最終目標	在宅での療養生活についての情報が不十分である	39.9% (429)	-	-	増加	ならのがんに関する患者意識調査
			地域連携・バスの活用状況の把握・公表	137件 (428)	122件 (429)	145件 (430)	増加	奈良県調べ
		最終目標	拠点病院等の地域連携体制の充実	1施設 (428)	1施設 (429)	1施設 (430)	増加	奈良県調べ
緩和ケア・バスの整備している拠点病院数	16回 (428)		17回 (429)	18回 (430)	増加	現況報告		
最終目標	在宅緩和ケア提供体制の整備及び充実	がん診療連携拠点病院における緩和ケアに関する地域多職種カンファレンスの開催回数（150～他施設含む）	16回 (428)	17回 (429)	18回 (430)	増加	現況報告	
	在宅緩和ケア提供体制の整備及び充実	在宅医療機関の公表（がん患者が可能な診療所、訪問看護ステーション、薬局等の施設数）	実施済み (428)	調査実施 (430)	継続実施 (431)	増加	奈良県調べ	
最終目標	在宅緩和ケア提供体制の整備及び充実	在宅緩和ケア研修会の参加者数	80人 (428)	57人 (429)	42人 (430)	増加	奈良県調べ	
	がん患者や県民への情報提供と普及啓発	医療・介護従事者への緩和ケア研修会の実施回数、参加者数（拠点病院）	11回/449人 (428)	10回/382人 (429)	10回/332人 (430)	増加	拠点病院機能強化事業実績報告	
最終目標	在宅緩和ケア提供体制の整備及び充実	地域連携・バスの認知度	14.5% (428)	-	-	増加		
	がん患者や県民への情報提供と普及啓発	「がんネットから」の認知度、アクセス数	11.3% (429)	-	-	増加	ならのがんに関する患者意識調査	